

徳島堰 350年③

ふるさと
の誇り
158

博しポート

徳島堰350年の歩みと旧村ごとの灌漑範囲の移り変わりを地図とグラフ、年表にまとめました。苦難の開削から度重なる水害を乗り越え、時代とともに新たな技術を取り入れながら堰の改修が続けられてきました。地域の人々の水への願いが約300年後釜無川右岸土地改良事業となり、現在の果樹栽培を支えています。「月夜でも焼ける」とうたわれた乾燥地域を潤す徳島堰の流れは、南アルプス市の未来に続いています。



ふるさと文化伝承館「徳島堰」展開催中!

	山梨県内	全国
モモ	4位	7位
サクランボ	1位	7位
ブドウ	4位	5位
スモモ	1位	1位

市町村別南アルプス市果実
2006年度生産量 註3



果樹王国へ

甲州三大堰の随一

